

こんにちは、お庭番の市川です。9月も彼岸を過ぎると庭に出るのが心地よくなってきます。実は最近、ニュースの事件を見るたび物騒だなあと感じることも増えました。そこで注目したいのがお庭の手入れ。植木や雑草が茂りすぎると、どうしても不審者の隠れ場になってしまいますよね。庭木を少し剪定するだけで見通しが良くなり、「ここは見られているぞ」と防犯効果抜群です！

私なんて先日、自宅の庭木を剪定中に通りがかったご近所さんといついつい長話。結局、剪定よりおしゃべりの方が多かったような気がします（笑）。でも、おかげで近所とのコミュニケーションが取れたりもします。地域の結束も防犯には大

きな要素ですからね。

庭仕事で軽く体を動かし、剪定した枝でスワッグを作ったりして自然の恵みを楽しんだら、気分はすっかり秋のアーティストです（笑）

皆さんもお庭ケアで、安全、健康、そして笑顔を増やしてみませんか？五感を刺激するにはお庭にでるのが一番！そろそろ秋の準備を始めましょう♪



インスタのおかげでナス料理のレパートリーが増えてきた 市川

お庭や植木のお手入れのご相談は、**お庭番** まで（土・日曜日・祝日 定休日）  **0120-152-887** [ダイヤル3番]

今月のお手入れワンポイント 植木のお手入れは10月まで待つのが〇 適期で行うのがコツ 秋に向けて害虫退治をしておきましょう

よどりの処方箋

涼しさを育てる庭の力

まだまだ残暑が残る9月。最近の夏は10月でも半袖ですね。冷房の効いた部屋で過ごす事が当たり前になった今、涼しいという快適さの概念が変わっているかもしれません。

昔の日本の家では、夏に涼をもたらす木を庭に植えていました。コブシやヤマボウシなどの落葉広葉樹は、夏には葉で日差しを遮り、風を呼び、冬には落葉して陽を家に入れる。そんな自然の力を暮らしに取り入れる工夫がありました。

木は水分を蒸発させることで周囲の熱を奪い、気温を下げます。さらに葉陰で風が生まれ、木の下は天然の「涼しい場所」となります。このような自然の仕組みと共に生きてきた感覚こそ、私たちの「皮膚感覚」に深く根づいています。

今、冷房に頼りきった閉じた空間で、涼しさを「数字」でしか感じられない暮らしになっていないでしょうか。落ち葉が面倒だと庭から木をなくし、風土の知恵も手放してしまった現代。けれど、自然とともにある暮らしには、心と体を整える力があるのです。

汗をかいて働いたあとの風の心地よさ。暑さの中にある涼しさの喜び。こうした「風通しのよい生き方」は、日本人が育んできた文化そのもの。木陰の涼しさを、庭から取り戻してみませんか。



森の美味しい♪ デリ情報

万能ホーリーバジルの凄さ感じてください

目の前の畑から摘みため、3種のフレッシュホーリーバジルのゼリー。美味しく食べるだけで美と健康が手に入ります！



金曜定休日 ☎0463-58-9522



Instagram



ホーリーバジル使いとして躍動中の 齋藤



ワンちゃんと楽しく暮らす情報

暑い日が続きますね！夏バテ対策のごはんは？



夏バテに効果のある肉は豚肉と馬肉です！豚肉、馬肉のフードとおやつを用意してます！



ドッグフォレスト 湘南

金曜定休日 ☎0463-59-7611



LINE



Instagram



自家製赤紫蘇酒を飲んで乗り切る 中島